

明治安田米国 レベニュー債オープン (為替ヘッジなし) 愛称:エッセンシャルボンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2023年9月29日設定）	
運用方針	投資信託証券を通じて、主として米国の州・地方政府や公共機関が公共施設の管理や運営等を目的に発行する債券（「以下、レベニュー債」といいます。）に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	明治安田米国レベニュー債オープン（為替ヘッジなし）	「アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」および「明治安田マネープール・マザーファンド」を主要投資対象とします。
	アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	明治安田マネープール・マザーファンド	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
組入制限	株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 デリバティブ取引の直接利用は行いません。	
分配方針	年2回（1月、7月の各25日。休業日の場合は翌営業日。）決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、信託財産の成長に資することを目的に、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ③収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書（全体版）

第2期

（決算日 2025年1月27日）

受益者のみなさまへ

平素は「明治安田米国レベニュー債オープン（為替ヘッジなし）」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第2期の決算を行いましたので、期中の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

MYAM 明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区大手町二丁目3番2号

ホームページ <https://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉

サポートデスク 0120-565787

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率			
(設定日)	円		円	%	%	%	百万円
2023年9月29日	10,000		—	—	—	—	2,988
1期(2024年7月25日)	10,944		300	12.4	0.2	97.8	3,554
2期(2025年1月27日)	10,840		200	0.9	0.2	99.5	3,535

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注3) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注4) 設定日の純資産は、設定元本を表示しております。
(注5) 当ファンドは、投資信託証券を通じて、主として米国のレベニュー債に投資します。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

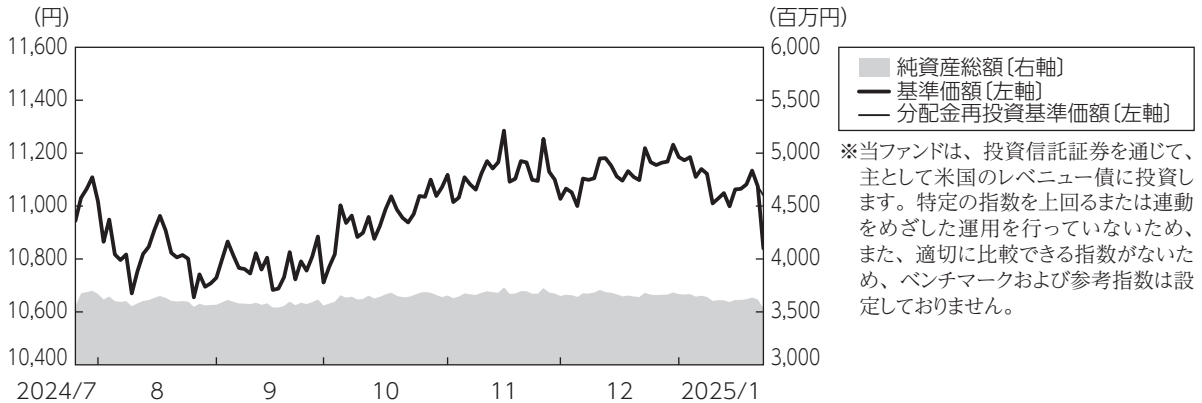
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%		%
2024年7月25日	10,944	—	—	0.2	97.8
7月末	11,018	0.7		0.2	98.7
8月末	10,729	△2.0		0.2	98.9
9月末	10,711	△2.1		0.2	99.0
10月末	11,118	1.6		0.2	98.8
11月末	11,027	0.8		0.2	98.2
12月末	11,185	2.2		0.2	99.2
(期 末)					
2025年1月27日	11,040	0.9		0.2	99.5

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

運用経過の説明

■ 基準価額等の推移



第2期首(2024年7月25日):10,944円

第2期末(2025年1月27日):10,840円(既払分配金200円)

騰落率:0.9%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、分配金(税込み)を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

※騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

■ 基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、「アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)」(以下「投資信託証券」ということがあります。)および明治安田マネープール・マザーファンドに投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

組み入れている投資信託証券の基準価額(分配金再投資ベース)が上昇したことにより、当ファンドの基準価額も上昇しました。

■ 投資環境

外国債券

当期の米国レベニュー債市場は、利回りが上昇（債券価格は下落）しました。期首から2024年9月中旬にかけては、F R B（米連邦準備制度理事会）による利下げ期待の高まりから米10年国債利回りは期首の4.3%から3.6%まで低下しました。9月のF O M C（米連邦公開市場委員会）では市場予想通り0.5%の利下げが決定されたものの、今後の利下げペースは緩やかになるとの見方が広がったことで、利回りは上昇に転じました。さらに米国大統領選挙の結果を受けて、次期大統領の政策がインフレを加速させるとの見方が強まり、利回りは上昇基調で推移しました。期末にかけても、堅調な米経済指標や政権運営に対する不透明感から利回りは高水準で推移し、期末の米10年国債利回りは4.6%となりました。こうした米長期金利の動きを反映し、米国レベニュー債の利回りも上昇しました。

外国為替

当期の米ドルは円に対して上昇しました。期首から2024年9月中旬にかけては、米国の利下げ期待の高まりから大きく円高米ドル安が進みました。しかし、その後は米国の利下げペース鈍化の見方に加え、日銀も追加利上げに慎重な姿勢を示したことから日米金利差が縮まりにくいとの観測が広がり、それまでの円高を打ち消す形で円安米ドル高が進展しました。期末にかけて日銀の利上げ観測などから円が買われる場面もみられたものの、期を通じては円安米ドル高となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

明治安田米国レベニュー債オープン（為替ヘッジなし）

期首の運用方針に基づき、投資信託証券への投資比率を高位に保ちました。また、明治安田マネープール・マザーファンドを組み入れた運用を行いました。

投資信託証券

投資信託証券の内容については、ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社より提供された情報等を基に明治安田アセットマネジメントが作成しています。

期首の運用方針に基づき、米国の投資適格のレベニュー債の中から、安定した事業と強固な財務体質を持ち、中長期にわたりインカム収入が期待される銘柄の組み入れを行いました。

保有する債券からのインカム収入および米ドルが円に対して上昇したことがプラスに寄与し、投資信託証券の基準価額は上昇しました。

明治安田マネープール・マザーファンド

運用方針に基づき、残存期間が比較的短い国債や政府保証債を主な投資対象とし、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、投資信託証券を通じて、主として米国のレベニュー債に投資します。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

分配金

- ・収益分配については、分配対象額の水準、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり200円(税込み)の分配を実施しました。
- ・収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第2期
	2024年7月26日～ 2025年1月27日
当期分配金	200
(対基準価額比率)	1.812%
当期の収益	96
当期の収益以外	103
翌期繰越分配対象額	839

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

明治安田米国レベニュー債オープン（為替ヘッジなし）

引き続き、投資信託証券への投資比率を高位に維持する方針です。また、明治安田マネープール・マザーファンドを組み入れた運用を行います。

投資信託証券

引き続き、主として米国のレベニュー債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

レベニュー債の利回りは魅力的な水準にあり、発行体の信用力も概ね健全なため、投資環境は良好とみています。2024年はレベニュー債への資金フローもプラスに転じており、安定したインカムを期待する投資家からの需要も相場を下支えするとみています。

2024年9月にF R Bは利下げに踏み切りました。利下げ局面では、安定したインカム収入に加えて債券価格の値上がりも期待でき、投資家に魅力的なリターンをもたらすことを期待しています。2025年に入り、利下げ期待は以前より後退するなど、市場の変動性は高まりつつあります。当ファンドではこうした局面での割安なレベニュー債の発掘にも注目していきます。

今後も個別銘柄の徹底した調査により、安定した事業と強固な財務体質を持ち、中長期にわたりインカム収入が期待できるレベニュー債の発掘に努める方針です。

明治安田マネープール・マザーファンド

引き続き、運用方針に基づき、安定した収益の確保を目指して運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 7 月26日～2025年 1 月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 41	% 0. 376	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×期末の信託報酬率
(投 信 会 社)	(15)	(0. 140)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販 売 会 社)	(25)	(0. 224)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 011)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0. 003	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合 計	41	0. 379	
期中の平均基準価額は、10,964円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

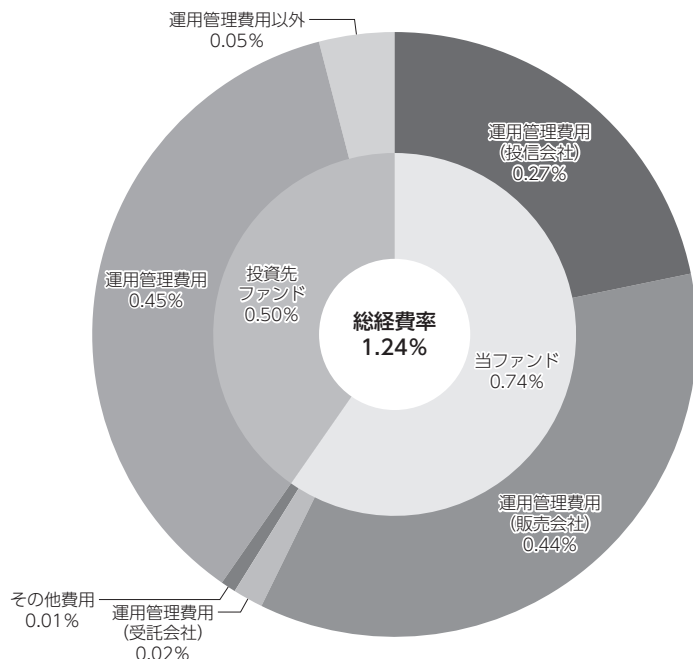
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.24%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.24
①当ファンドの費用の比率	0.74
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.45
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年7月26日～2025年1月27日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	口	千円	口	千円
		116,618,076	120,000	77,793,928	80,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年7月26日～2025年1月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年1月27日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
		口	口	千円	%
	アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	3,418,276,634	3,457,100,782	3,517,600	99.5
	合 計	3,418,276,634	3,457,100,782	3,517,600	99.5

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

親投資信託残高

銘柄		期首(前期末)	当期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
	明治安田マネープール・マザーファンド	10,008	10,008	10,004

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年 1 月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	3, 517, 600	97. 2
明治安田マネープール・マザーファンド	10, 004	0. 3
コール・ローン等、その他	91, 686	2. 5
投資信託財産総額	3, 619, 290	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年 1 月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3, 619, 290, 245
コール・ローン等	91, 685, 055
投資信託受益証券(評価額)	3, 517, 600, 045
明治安田マネープール・マザーファンド(評価額)	10, 004, 003
未収利息	1, 142
(B) 負債	84, 014, 687
未払収益分配金	65, 226, 393
未払解約金	5, 036, 421
未払信託報酬	13, 650, 068
その他未払費用	101, 805
(C) 純資産総額(A－B)	3, 535, 275, 558
元本	3, 261, 319, 697
次期繰越損益金	273, 955, 861
(D) 受益権総口数	3, 261, 319, 697口
1 万口当たり基準価額(C／D)	10, 840円

(注1) 当ファンドの期首元本額は3, 248, 434, 121円、期中追加設定元本額は176, 898, 885円、期中一部解約元本額は164, 013, 309円です。

(注2) 1 口当たり純資産額は1. 0840円です。

○損益の状況 (2024年 7 月26日～2025年 1 月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	45, 247, 357
受取配当金	45, 198, 206
受取利息	49, 151
(B) 有価証券売買損益	△ 649, 264
売買益	1, 217, 754
売買損	△ 1, 867, 018
(C) 信託報酬等	△ 13, 751, 873
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	30, 846, 220
(E) 前期繰越損益金	259, 525, 440
(F) 追加信託差損益金	48, 810, 594
(配当等相当額)	(23, 545, 421)
(売買損益相当額)	(25, 265, 173)
(G) 計(D＋E＋F)	339, 182, 254
(H) 収益分配金	△ 65, 226, 393
次期繰越損益金(G＋H)	273, 955, 861
追加信託差損益金	48, 810, 594
(配当等相当額)	(23, 545, 503)
(売買損益相当額)	(25, 265, 091)
分配準備積立金	225, 813, 686
繰越損益金	△ 668, 419

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (31, 514, 639円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (48, 142, 175円) および分配準備積立金 (259, 525, 440円) より分配対象収益は339, 182, 254円 (10, 000口当たり1, 039円) であり、うち65, 226, 393円 (10, 000口当たり200円) を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	200円
-----------------	------

※分配金をお支払いする場合

分配金は決算日から起算して、5 営業日までにお支払いを開始しております。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類		追加型投信／海外／債券
信 託 期 間		無期限
運 用 方 針		アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンドの受益証券への投資を通じて、信託財産の成長をめざして運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主要運用 対象	アンカー・マッコーリー 米国エッセンシャル 債券 ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド受益証券
	アンカー・マッコーリー 米国エッセンシャル 債券マザーファンド	主として、米国の州・地方政府や公共機関が公共施設の管理や運営等を目的に発行する債券（以下、「レベニュー債」ということがあります。）
マ ザ ー フ ァ ン ド の 運 用 方 法		1. 主として米国のレベニュー債に投資し、安定したインカムの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 2. 原則として、取得時においてS&P、ムーディーズ、フィッチ・レーティングのうち1社以上の格付機関から投資適格（BBB-/Baa3）以上の格付けが付与された債券を主要な投資対象とします。 3. 投資にあたっては、ファンダメンタルズ分析、発行体の財務分析、バリュエーション分析等を行い、信用リスク、流動性および分散投資に配慮しながら、ポートフォリオを構築します。 4. 組入債券（レベニュー債含む）の組入比率は、原則として高位を維持します。 5. 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 6. 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 7. 運用にあたっては、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・アドバイザーズに運用の指図にかかる権限を委託します。
組入制限	アンカー・マッコーリー 米国エッセンシャル 債券 ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	1. アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券への投資割合には制限を設けません。 2. 債券等への直接投資は、原則として行いません。 3. マザーファンドを通じて行う一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 4. マザーファンドを通じて行う投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 5. デリバティブ取引（法人税法第61条の5に定めるものをいいます。）および外国為替予約取引は、投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的ならびに価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。
	アンカー・マッコーリー 米国エッセンシャル 債券マザーファンド	1. 債券等への投資割合には制限を設けません。 2. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 4. デリバティブ取引（法人税法第61条の5に定めるものをいいます。）および外国為替予約取引は、投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的ならびに価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。
分 配 方 針		収益分配金額は、分配対象額の範囲（経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。））および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額をいいます。）等の全額）内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。但し、必ず分配を行うものではありません。 尚、留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

アンカー・マッコーリー 米国エッセンシャル 債券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

運用報告書（全体版） 第2期（決算日 2024年7月10日）

受益者のみなさまへ

毎々格別のご愛顧にあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、去る2024年7月10日に第2期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



運用報告書に関するお問い合わせ先
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社
業務部
〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10
アークヒルズ仙石山森タワー
電話番号：03-5575-5780
受付時間：営業日の午前9時～午後5時
ホームページ：www.northerntrust.jp/

《アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）》

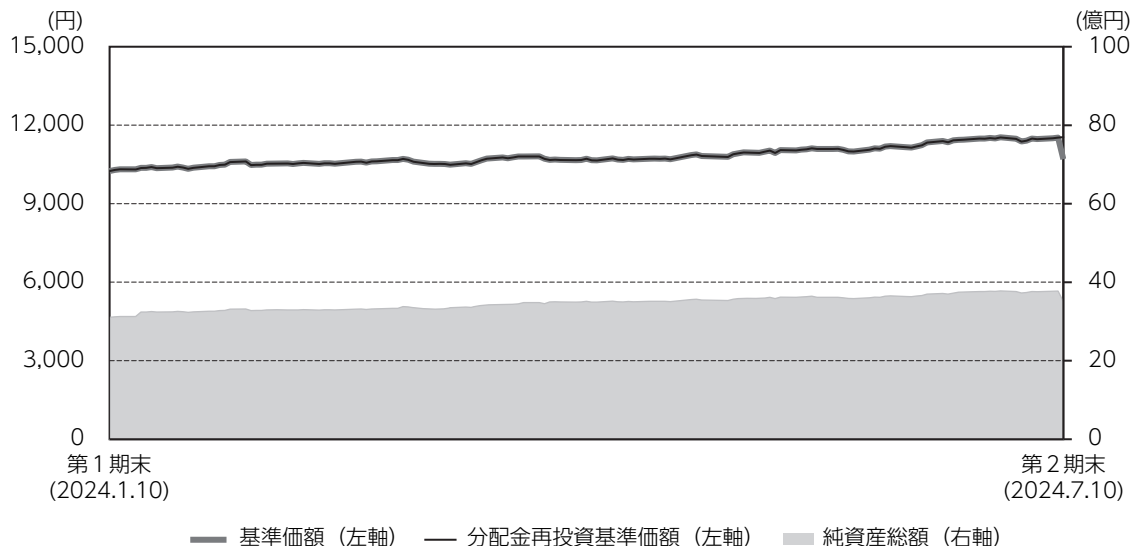
設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			参 考 指 数		債 券 組入比率	純資産 総 額
		税 込 分配金	期 中 騰落率		期 中 騰落率		
(設 定 日) (2023年10月2日)	円 10,000	円 －	% －	10,000	% －	% －	百万円 2,900
1 期 (2024年1月10日)	10,247	300	5.5	10,393	3.9	98.5	3,103
2 期 (2024年7月10日)	10,696	850	12.7	11,680	12.4	98.9	3,503

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注2) 参考指数としてブルームバーグ米国課税地方債インデックス（トータル・リターン、円換算、2023年10月2日を10,000とする。）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

《運用経過》

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

■基準価額・騰落率

期 首：10,247円

期 末：10,696円（既払分配金850円）

騰落率：+12.7%（分配金再投資ベース）

■組入ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド	12.9%

■基準価額の主な変動要因

債券価格の下落が小幅にマイナス寄与したものの、債券のインカム収入や為替がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。債券では、主に病院、輸送セクターでの保有銘柄のインカム収入がプラス寄与しました。為替では、円は米ドルに対して円安となり、プラス寄与しました。

アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		債 券 組入比率
		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首) 2024年 1 月10日	円 10,247	% －	10,393	% －	% 98.5
1 月末	10,479	2.3	10,655	2.5	99.0
2 月末	10,615	3.6	10,753	3.5	98.8
3 月末	10,802	5.4	10,968	5.5	97.8
4 月末	10,854	5.9	11,011	6.0	99.4
5 月末	10,994	7.3	11,111	6.9	98.8
6 月末	11,535	12.6	11,660	12.2	98.9
(期 末) 2024年 7 月10日	11,546	12.7	11,680	12.4	98.9

(注 1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。
(注 2) 参考指数としてブルームバーグ米国課税地方債インデックス（トータル・リターン、円換算、2023年10月2日を10,000とする。）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

投資環境について**○米国レベニュー債市況**

当期の米国レベニュー債市場は、利回りが上昇（債券価格は下落）しました。期初から4月末にかけては、米経済指標が予想を上回る伸びを見せたことなどから、米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ観測が後退し、米10年国債利回りは期初の4.0%から一時4.7%まで上昇しました。その後は雇用統計、消費者物価指数など米経済指標が予想を下回る伸びとなったことなどから、年内利下げの見方が強まり、期末にかけて米10年国債利回りは4.3%まで低下し、期を通じては上昇しました。こうした米長期金利の動きを反映し、米国レベニュー債の利回りも上昇（債券価格は下落）したものの、レベニュー債の発行体が備える健全な信用力が評価されたことなどから、米10年国債利回りと比べ、その上昇幅は小幅なものとなりました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、期首と比べて円安米ドル高となりました。米国の利下げ観測の後退に加え、日銀の金融政策がハト派的と受け止められたことなどから、期末には1米ドル161円台をつけるなど、期を通じて大きく円安米ドル高が進展しました。

前期における「今後の運用方針」

「アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド」の受益証券への投資を行います。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド」の受益証券への投資を行いました。

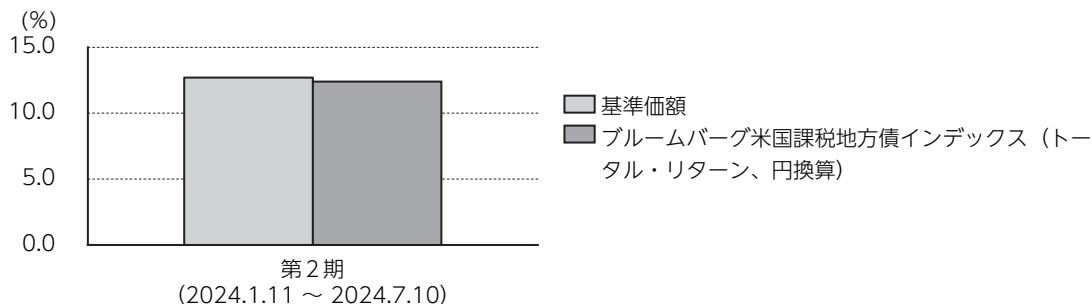
○アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド

当ファンドは、米国の投資適格レベニュー債の中から、安定した事業と強固な財務体質を持ち、中長期にわたりインカム収入が期待される銘柄の組み入れを行いました。以上の運用の結果、保有する債券のインカム収入や為替がプラス寄与し、基準価額は上昇しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。参考指数は米国課税地方債市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期の1万口当り分配金（税込）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込）」欄をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		当 期
		2024年1月11日 ～2024年7月10日
当期分配金（税込）	(円)	850
対基準価額比率	(%)	7.362
当期の収益	(円)	850
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	695

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込）の期末基準価額（分配金込）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド」の受益証券への投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。

○アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド

引き続き、レベニュー債の利回りは魅力的な水準にあります。また発行体の信用力も健全なため、レベニュー債への投資機会が到来しているとみています。米国経済は利上げの影響により徐々に減速することを想定しています。しかし、保有銘柄は生活の基盤となる事業が裏付けとなっているため、景気の減速局面でも安定した収益を確保できる見込みです。さらに、FRB（米連邦準備制度理事会）が利下げに転じた場合には、安定したインカム収入に加えて、債券価格の値上がりも期待でき、投資家に魅力的なりターンをもたらすことを期待しています。今後も個別銘柄の徹底した調査により、安定した事業と強固な財務体質を持ち、中長期にわたりインカム収入が期待できるレベニュー債の発掘に努める方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第 2 期		項 目 の 概 要
	(2024.1.11 ～ 2024.7.10)		
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	25円	0.227%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,879円です。
(投信会社)	(24)	(0.218)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(0)	(0.001)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(1)	(0.008)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	－	－	
(c) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	3	0.024	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(2)	(0.017)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合 計	28	0.251	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況

(2024年1月11日から2024年7月10日まで)

投資信託受益証券

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アンカー・マッコーリー 米国エッセンシャル 債券マザーファンド	256,040	280,000	107,061	114,661

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

(2024年7月10日現在)

	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド	3,028,741	3,177,720	3,790,385

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2024年7月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド	3,790,385	100.0
コール・ローン等、その他	0	0.0
投資信託財産総額	3,790,385	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、7月10日における邦貨換算レートは、1米ドル=161.55円です。

(注3) アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(3,500,004千円)の投資信託財産総額(3,790,501千円)に対する比率は92.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年7月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,790,385,148円
コール・ローン等	1
アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド(評価額)	3,790,385,147
(B) 負債	287,205,114
未払収益分配金	278,395,604
未払信託報酬	7,880,010
その他未払費用	929,500
(C) 純資産総額(A - B)	3,503,180,034
元本	3,275,242,401
次期繰越損益金	227,937,633
(D) 受益権総口数	3,275,242,401口
1万口当り基準価額(C / D)	10,696円

* 期首における元本額3,028,819,752円、当期中における追加設定元本額264,416,351円、同解約額17,993,702円

* 当期末の計算口数当りの純資産総額は1.0696円です。

■損益の状況

当期(自2024年1月11日 至2024年7月10日)

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	424,870,148円
売買益	426,393,389
売買損	△ 1,523,241
(B) 信託報酬等	△ 8,479,910
(C) 当期損益金(A + B)	416,390,238
(D) 前期繰越損益金	73,257,519
(E) 追加信託差損益金	16,685,480
(配当等相当額)	(6,650,511)
(売買損益相当額)	(10,034,969)
(F) 合計(C + D + E)	506,333,237
(G) 収益分配金	△ 278,395,604
次期繰越損益金(F + G)	227,937,633
追加信託差損益金	16,685,480
(配当等相当額)	(7,555,526)
(売買損益相当額)	(9,129,954)
分配準備積立金	211,252,153

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 分配金の計算過程

計算期間末に、費用控除後の配当等収益額76,291,487円(1万口当り232.93円)、費用控除後の有価証券売買等損益340,098,751円(1万口当り1,038.39円)、収益調整金額16,685,480円(1万口当り50.95円)及び、分配準備積立金額73,257,519円(1万口当り223.67円)から分配対象収益額は506,333,237円(1万口当り1,545円)となり、うち278,395,604円(1万口当り850円)を分配金額としております。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要運用対象	主として、米国の州・地方政府や公共機関が公共施設の管理や運営等を目的に発行する債券（以下、「レベニュー債」ということがあります。）
運用方法	- 主として米国のレベニュー債に投資し、安定したインカムの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 - 原則として、取得時においてS&P、ムーディーズ、フィッチ・レーティングスのうち1社以上の格付機関から投資適格（BBB-/Baa3）以上の格付けが付与された債券を主要な投資対象とします。 - 投資にあたっては、ファンダメンタルズ分析、発行体の財務分析、バリュエーション分析等を行い、信用リスク、流動性および分散投資に配慮しながら、ポートフォリオを構築します。 - 組入債券（レベニュー債含む）の組入比率は、原則として高位を維持します。 - 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 - 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 - 運用にあたっては、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・アドバイザーズに運用の指図にかかる権限を委託します。
組入制限	- 債券等への投資割合には制限を設けません。 - 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行ないます。 - 投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 - デリバティブ取引（法人税法第61条の5に定めるものをいいます。）および外国為替予約取引は、投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的ならびに価格変動リスク、金利変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。

アンカー・マッコーリー 米国エッセンシャル 債券マザーファンド

運用報告書

第1期（決算日 2024年7月10日）

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券マザーファンド」は、去る2024年7月10日に第1期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



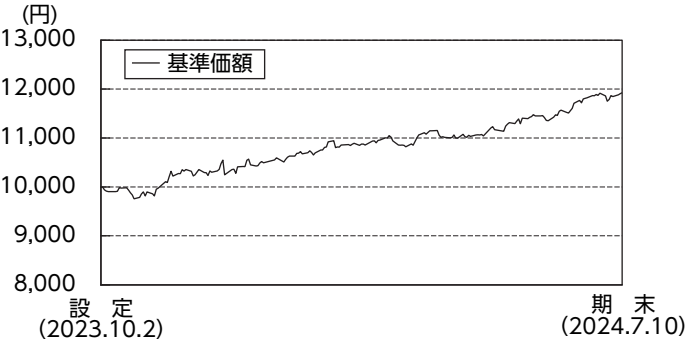
運用報告書に関するお問い合わせ先
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメント株式会社
業務部
〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10
アークヒルズ仙石山森タワー
電話番号：03-5575-5780
受付時間：営業日の午前9時～午後5時
ホームページ：www.northerntrust.jp/

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		参 考 指 数		債 券 組入比率	純資産 総 額
		期 中 騰落率		期 中 騰落率		
(設 定 日) (2023年10月2日)	円 10,000	% －	10,000	% －	% －	百万円 2,900
1 期 (2024年7月10日)	11,928	19.3	11,680	16.8	91.4	3,790

(注) 参考指数としてブルームバーグ米国課税地方債インデックス（トータル・リターン、円換算、2023年10月2日を10,000とする。）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

■当期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		債 券 組入比率
		騰 落 率		騰 落 率	
(設 定 日) 2023年10月2日	円 10,000	% －	10,000	% －	% －
10月末	9,815	△ 1.9	9,717	△ 2.8	97.0
11月末	10,325	3.3	10,178	1.8	98.5
12月末	10,491	4.9	10,324	3.2	98.9
2024年1月末	10,805	8.1	10,655	6.6	99.0
2月末	10,949	9.5	10,753	7.5	98.8
3月末	11,146	11.5	10,968	9.7	97.7
4月末	11,204	12.0	11,011	10.1	99.3
5月末	11,353	13.5	11,111	11.1	98.7
6月末	11,915	19.2	11,660	16.6	98.7
(期 末) 2024年7月10日	11,928	19.3	11,680	16.8	91.4

(注) 騰落率は設定日比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円 期末：11,928円 騰落率：+19.3%

【基準価額の主な変動要因】

債券の価格上昇やインカム収入に加え、為替がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。債券では、主に病院、輸送セクターがプラス寄与しました。為替では、円は米ドルに対して円安となり、プラス寄与しました。

◆投資環境について

○米国レベニュー債市況

当期の米国レベニュー債市場は、利回りが低下（債券価格は上昇）しました。期初から2023年末にかけては、米国の利下げ期待の高まりから米10年国債利回りは期初の4.7%から3.9%まで低下しました。一方、2024年以降は利下げ観測が後退したことで、米10年国債利回りは緩やかに上昇に転じたものの、期を通じては低下しました。こうした米長期金利の動きを反映し、米国レベニュー債の利回りも低下（債券価格は上昇）しました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、期首と比べて円安米ドル高となりました。期首から2023年末にかけては米国の利下げ期待の高まりから円高が進みました。しかし2024年に入ると、米国の利下げ観測の後退に加え、日銀の金融政策がハト派的と受け止められたことなどから、期末には1米ドル161円台をつけるなど、期を通じては円安米ドル高が進展しました。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、米国の投資適格レベニュー債の中から、安定した事業と強固な財務体質を持ち、中長期にわたりインカム収入が期待される銘柄の組み入れを行いました。以上の運用の結果、保有する債券の値上がりやインカム収入、為替がプラス寄与し、基準価額は上昇しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。参考指数は米国課税地方債市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

基準価額と参考指数の騰落率は、それぞれ+19.3%、+16.8%となりました。

《今後の運用方針》

引き続き、レベニュー債の利回りは魅力的な水準にあります。また発行体の信用力も健全なため、レベニュー債への投資機会が到来しているとみています。米国経済は利上げの影響により徐々に減速することを想定しています。しかし、保有銘柄は生活の基盤となる事業が裏付けとなっているため、景気の減速局面でも安定した収益を確保できる見込みです。さらに、FRB（米連邦準備制度理事会）が利下げに転じた場合には、安定したインカム収入に加えて、債券価格の値上がりも期待でき、投資家に魅力的なリターンをもたらすことを期待しています。今後も個別銘柄の徹底した調査により、安定した事業と強固な財務体質を持ち、中長期にわたりインカム収入が期待できるレベニュー債の発掘に努める方針です。

■1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
(a) 売買委託手数料	－円
(b) 有価証券取引税	－
(c) その他費用 (保管費用)	1 (1)
(その他)	(0)
合 計	1

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって
受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■売買及び取引の状況

(2023年10月2日から2024年7月10日まで)

公 社 債

		種 類	買 付 額	売 付 額
外 国	ア メ リ カ		千米ドル	千米ドル
		国 債 証 券	6,069	979 (5,000)
		地 方 債 証 券	17,590	1,571 (754)
		普 通 社 債 券	4,966	291

(注1) 金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）
(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■組入資産の明細

(2024年7月10日現在)

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組 入 率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ア メ リ カ	千米ドル 24,157	千米ドル 21,451	千円 3,465,491	% 91.4	% —	% 80.0	% 4.4	% 7.0
合 計	—	—	3,465,491	91.4	—	80.0	4.4	7.0

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注3) 単位未満は切捨て。
(注4) 一印は組入れなし。
(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

銘 柄 名	種 類	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		%	千米ドル	千米ドル	千円	
TREASURY BILL	国債証券	0.000	100	99	16,140	2024/07/16
SACRAMENTO CNTY CA-B	地方債証券	0.872	225	221	35,704	2024/12/01
FOOTHILL ESTRN TRANSP		1.160	250	235	38,019	2026/01/15
PENNSYLVANIA ST ECON		1.164	300	288	46,671	2025/06/15
MA CLEAN ENERGY -REF		1.368	230	221	35,832	2025/07/01
SAN DIEGO WTR AUTH-A		1.531	180	152	24,632	2030/05/01
ILLINOIS ST HSG DEV A		1.850	220	178	28,858	2032/10/01
PENNSYLVANIA ST ECON		1.966	250	225	36,363	2028/06/15
BAY AREA CA TOLL AUTH		2.019	225	195	31,650	2030/04/01
LOS ANGELES DEPT ARPT		2.063	185	143	23,238	2034/05/15
DALLAS TX WTRWKS AND SWR		2.230	350	274	44,325	2034/10/01
NEW YORK CITY NY INDL		2.336	300	229	37,143	2035/01/01
ALLEGHENY CO HGR EDU		2.425	300	270	43,677	2029/03/01
ANAHEIM HSG AND PUB-B		2.453	325	280	45,347	2031/10/01
PORT OF MORROW-TXBL		2.533	265	181	29,265	2043/09/01
UNIV OF CALIFORNIA-BF		2.650	485	313	50,572	2050/05/15
COLORADO ST BRD-D-1		2.742	300	231	37,473	2038/03/01
AUSTIN TX ELEC UTIL-A		2.837	300	283	45,822	2027/11/15
DALLAS-FORT WORTH-A		2.994	300	250	40,414	2038/11/01
NEW YORK CITY INDL		3.000	325	241	39,072	2049/03/01
MD HLTH AND HGR EDUCTNL-D		3.052	395	297	48,116	2040/07/01
ARIZONA BRD OF RGTS-B		3.162	300	208	33,659	2053/07/01
CHARLOTTE-MECKLENBURG		3.204	420	296	47,912	2051/01/15
MIAMI DADE CO -B-REF		3.270	295	229	37,108	2041/10/01
NEW JERSEY ST ECON DE		3.282	310	303	49,110	2025/06/15
LOUISVILLE/JEFFERSON		3.317	25	24	3,967	2025/05/15
MET WASHINGTON DC ARP		3.562	250	202	32,682	2041/10/01
CENTRL TX REGL AUTH-D		3.593	300	245	39,697	2042/01/01
UNIV OF CALIFORNIA CA		3.706	505	337	54,467	2120/05/15
PA TURNPIKE COMM		3.779	300	248	40,118	2042/12/01

銘柄名	種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		%	千米ドル	千米ドル	千円	
NEW YORK ST ENVRNMNTL	地方債券券	3.916	310	279	45,230	2036/06/15
TX ST PRIV ACTIVITY-B		3.922	430	351	56,837	2049/12/31
DALLAS-FORT WORTH-A		4.087	280	235	37,977	2051/11/01
FOOTHILL ESTRN TRANSP		4.094	420	350	56,672	2049/01/15
HI ARPTS SYS CUST FAC		4.144	250	202	32,647	2047/07/01
CHICAGO OHARE ARPT-C		4.472	345	311	50,324	2049/01/01
LA LOCAL GOVT ENVRN-A		4.475	250	237	38,298	2039/08/01
PORT AUTH OF NEW YORK		4.823	300	281	45,433	2045/06/01
NEW YORK ST DORM AUTH		4.850	290	268	43,415	2048/07/01
PORT AUTH NY/NJ #168		4.926	300	287	46,487	2051/10/01
IA FIN AUTH-REV-REF		5.000	300	318	51,488	2050/12/01
MET TRANS-C2-UNREFUND		5.175	20	17	2,905	2049/11/15
NYC MUN WTR FIN -BABS		5.440	230	224	36,323	2043/06/15
MO HWYS AND TRANS -BABS		5.445	250	252	40,784	2033/05/01
FLORIDA DEV FIN CORP		5.500	200	206	33,400	2053/07/01
AMER MUN PWR		5.803	250	254	41,145	2028/02/15
SAN ANTONIO ELEC		5.808	250	255	41,309	2041/02/01
AMERN MUN PWR-BABS		5.939	265	272	44,085	2047/02/15
SAN DIEGO WTR-B		6.138	250	266	43,090	2049/05/01
CT HSG FIN A-C-2-TXBL		6.143	300	304	49,264	2054/11/15
COMMONWEALTH PA-BABS		6.218	200	210	34,050	2039/06/01
ALLEGHENY CO ARPT-C		6.220	300	317	51,289	2053/01/01
CO HSG AND FIN AUTH-P-1		6.271	280	298	48,174	2033/11/01
VA HSG DEV AUTH-B-TXB		6.404	250	256	41,399	2043/11/01
NJ TRN TR FD BABS		6.561	250	273	44,119	2040/12/15
LA DEPT WTR AND PWR-BAB		6.574	265	295	47,671	2045/07/01
MEAG TXB-PLT VOGTLE		6.637	296	323	52,312	2057/04/01
MET TRANS AUTH		6.668	250	270	43,707	2039/11/15
CHICAGO WTR-TXB-2ND-B		6.742	200	220	35,596	2040/11/01
WESTERN MUN PWR-BABS		6.770	250	281	45,555	2046/01/01
MO JT MUN ELEC-BABS		6.890	250	277	44,895	2042/01/01
BAY AREA TOLL-S1		6.918	120	135	21,842	2040/04/01
MUNI ELEC-BABS-TXB		7.055	316	354	57,238	2057/04/01
NJ TPK-TXB-A-BABS		7.102	250	286	46,285	2041/01/01
S JERSEY PORT CORP-P3		7.365	190	212	34,355	2040/01/01
NJ TPK-F-TXB		7.414	200	235	38,026	2040/01/01
PROV ST JOSEPH HLTH OBL	普通社債券	2.532	300	265	42,847	2029/10/01
TRINITY HEALTH CORP		2.632	300	213	34,502	2040/12/01
SHARP HEALTHCARE		2.680	400	252	40,752	2050/08/01
COMMONSPIRIT HEALTH		2.760	260	258	41,707	2024/10/01
RAYBURN CTRY SEC LLC		3.025	300	239	38,707	2041/12/01
COMMUNITY HEALTH NETWORK		3.099	500	331	53,570	2050/05/01
SUTTER HEALTH		3.161	250	191	30,930	2040/08/15
MOUNT NITTANY MED CTR		3.799	250	193	31,297	2052/11/15
THOMAS JEFFERSON UNIV		3.847	400	296	47,870	2057/11/01
ALLINA HEALTH SYSTEM		3.887	350	275	44,534	2049/04/15

アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド

銘柄名	種類	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		%	千米ドル	千米ドル	千円	
COMMONSPIRIT HEALTH	普通社債券	3.910	300	229	37,077	2050/10/01
DUKE UNIVERSITY HEALTH		3.920	275	221	35,852	2047/06/01
RWJ BARNABAS HEALTH		3.949	250	205	33,227	2046/07/01
UNIVERSITY OF MIAMI		4.063	300	240	38,817	2052/04/01
KAISER FOUNDATION HOSPIT		4.150	300	253	40,957	2047/05/01
COMMONSPIRIT HEALTH		4.187	300	241	38,987	2049/10/01
NYU LANGONE HOSPITALS		4.368	300	262	42,449	2047/07/01
ALLINA HEALTH SYSTEM		4.805	300	270	43,744	2045/11/15
SUTTER HEALTH		5.547	350	361	58,329	2053/08/15
ADVENTIST HEALTH SYS/W		5.757	300	300	48,609	2034/12/01
小 計	—	—	—	—	3,465,491	—
合 計	—	—	—	—	3,465,491	—

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
 (注 2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2024年7月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	3,465,491	91.4
コールローン等、その他	325,010	8.6
投資信託財産総額	3,790,501	100.0

(注1) 単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、7月10日における邦貨換算レートは、1米ドル=161.55円です。
(注3) 当期末における外貨建資産（3,500,004千円）の投資信託財産総額（3,790,501千円）に対する比率は、92.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年7月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,790,501,927円
コール・ローン等	296,257,107
公社債（評価額）	3,465,491,667
未収利息	28,406,737
前払費用	346,416
(B) 純資産総額(A)	3,790,501,927
元本	3,177,720,613
次期繰越損益金	612,781,314
(C) 受益権総口数	3,177,720,613口
1万口当り基準価額(B／C)	11,928円

* 設定日における元本額2,900,000,000円、当期中における追加設定元本額384,781,789円、同解約額107,061,176円
* 当期末における当マザーファンドを対象とする投資信託元本額は、アンカー・マッコーリー米国エッセンシャル債券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）3,177,720,613円
* 当期末の計算口数当りの純資産総額は1.1928円です。

■損益の状況

当期（自2023年10月2日 至2024年7月10日）

項 目	当 期
(A) 配当等収益	118,543,862円
受取利息	118,543,862
(B) 有価証券売買損益	476,889,450
売買益	479,464,531
売買損	△ 2,575,081
(C) 信託報酬等	△ 269,446
(D) 当期損益金(A + B + C)	595,163,866
(E) 追加信託差損益金	25,218,211
(F) 解約差損益金	△ 7,600,763
(G) 合計(D + E + F)	612,781,314
次期繰越損益金(G)	612,781,314

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

明治安田マネープール・マザーファンド

運用報告書

第13期

(決算日 2024年10月15日)

「明治安田マネープール・マザーファンド」は、2024年10月15日に第13期決算を行いました。
以下、当マザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。

◎最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	債 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		期 中 騰 落 率		
	円	%	%	百万円
(第9期) 2020年10月15日	10,009	△0.1	71.9	2,306
(第10期) 2021年10月15日	10,002	△0.1	84.8	2,279
(第11期) 2022年10月17日	9,994	△0.1	73.4	8,273
(第12期) 2023年10月16日	9,992	△0.0	95.2	5,011
(第13期) 2024年10月15日	9,994	0.0	84.1	2,376

(注)当ファンドは、国内短期金融資産への投資を通じて安定的な収益の確保を目指して運用を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	債 券 組 入 比 率
		騰 落 率	
	円	%	%
(期 首) 2023年10月16日	9,992	—	95.2
10月末	9,991	△0.0	54.2
11月末	9,992	0.0	69.8
12月末	9,993	0.0	74.9
2024年 1月末	9,993	0.0	77.2
2月末	9,988	△0.0	71.0
3月末	9,989	△0.0	63.1
4月末	9,988	△0.0	63.1
5月末	9,983	△0.1	84.6
6月末	9,990	△0.0	80.7
7月末	9,985	△0.1	80.7
8月末	9,989	△0.0	80.6
9月末	9,994	0.0	84.1
(期 末) 2024年10月15日	9,994	0.0	84.1

(注1)騰落率は期首比です。

(注2)当ファンドは、国内短期金融資産への投資を通じて安定的な収益の確保を目指して運用を行います。運用方針に対し適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2023年10月17日～2024年10月15日)

1 基準価額

基準価額の推移と主な変動要因



基準価額は期首9,992円で始まり期末9,994円で終わりました。騰落率は+0.02%でした。この主な要因としては、組み入れていた政府保証債の金利相当分の収益が基準価額に対してプラスに寄与した一方、日銀による金融政策修正観測が広がり、債券利回りが上昇する場面において債券価格が下落したことがマイナスに影響しました。

2 運用経過

運用概況

当マザーファンドは、国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融商品を主要投資対象としています。米国や欧州において中央銀行が相次いで利下げに転じる一方、国内において日銀は金融政策の修正を進めました。日銀は2024年3月の金融政策決定会合において異例のマイナス金利政策を解除し、7月会合では追加利上げを決定するとともに国債買い入れの減額計画を発表しました。こうした環境下で短期金利がマイナスからプラスに転じる中、当マザーファンドでは運用の基本方針に従い、政府保証債を組み入れた運用を行いました。

3 今後の運用方針

引き続き、運用の基本方針に従い運用を行います。

◎1万口当たりの費用明細

項目		当期		項目の概要
		2023年10月17日～2024年10月15日		
		金額	比率	
(a) その他費用		0円	0.000%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ※期中の平均基準価額は9,989円です。
	(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計		0	0.000	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

◎売買及び取引の状況(2023年10月17日～2024年10月15日)

○公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	特殊債券	1,031,785	1,709,735 (2,085,000)

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

◎利害関係人との取引状況等(2023年10月17日～2024年10月15日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○国内(邦貨建)公社債(種類別)

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちＢＢ格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
特殊債券(除く金融債)	千円	千円	%	%	%	%	%
	1,996,000	1,997,408	84.1	—	—	—	84.1
合 計	1,996,000	1,997,408	84.1	—	—	—	84.1

(注1)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2)単位未満は切り捨て。

(注3)－印は組み入れなし。

(注4)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

○国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

当 期		末		
銘 柄 名	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(特殊債券(除く金融債))	%	千円	千円	
政府保証第28回日本政策投資銀行社債	0.45	100,000	100,120	2025/ 3/13
政府保証第30回日本政策投資銀行社債	0.425	200,000	200,214	2025/ 9/11
政府保証第52回日本政策投資銀行社債	0.001	200,000	199,948	2025/ 1/24
政府保証第229回日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.539	117,000	117,017	2024/10/31
政府保証第236回日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.32	110,000	110,063	2025/ 1/31
政府保証第238回日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.414	100,000	100,094	2025/ 2/28
政府保証第243回日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.391	126,000	126,144	2025/ 4/30
政府保証第249回日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.484	200,000	200,314	2025/ 6/30
政府保証第65回地方公共団体金融機構債券	0.539	100,000	100,001	2024/10/16
政府保証第66回地方公共団体金融機構債券	0.495	113,000	113,035	2024/11/18
政府保証第67回地方公共団体金融機構債券	0.466	100,000	100,055	2024/12/13
政府保証第72回地方公共団体金融機構債券	0.509	200,000	200,354	2025/ 5/23
政府保証第77回地方公共団体金融機構債券	0.386	200,000	200,120	2025/10/15
政府保証第56回日本政策金融公庫債券	0.001	130,000	129,927	2025/ 2/21
合 計		1,996,000	1,997,408	

(注)額面・評価額の単位未満は切り捨て。

◎投資信託財産の構成

2024年10月15日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	1, 997, 408	84. 1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	378, 822	15. 9
投 資 信 託 財 産 総 額	2, 376, 230	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2024年10月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2, 376, 230, 070円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	377, 637, 687
公 社 債 (評価額)	1, 997, 408, 480
未 収 利 息	1, 183, 903
(B) 負 債	40, 000
未 払 解 約 金	40, 000
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	2, 376, 190, 070
元 本	2, 377, 632, 832
次 期 繰 越 損 益 金	△ 1, 442, 762
(D) 受 益 権 総 口 数	2, 377, 632, 832口
1万口当たり基準価額 (C／D)	9, 994円

◎損益の状況

自 2023年10月17日
至 2024年10月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	10, 698, 306円
受 取 利 息	11, 053, 598
支 払 利 息	△ 355, 292
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△11, 410, 130
売 買 益	84, 100
売 買 損	△11, 494, 230
(C) 信 託 報 酬 等	△ 6, 067
(D) 当 期 損 益 金 (A＋B＋C)	△ 717, 891
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 3, 887, 422
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 597, 206
(G) 解 約 差 損 益 金	3, 759, 757
(H) 計 (D＋E＋F＋G)	△ 1, 442, 762
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	△ 1, 442, 762

(注1) 当親ファンドの期首元本額は5, 015, 411, 715円、期中追加設定元本額は1, 158, 727, 206円、期中一部解約元本額は3, 796, 506, 089円です。

(注2) 当親ファンドの当期末元本の内訳は、明治安田ダウンサイドリスク抑制型グローバル・バランスPファンド(適格機関投資家私募)2, 232, 195, 731円、明治安田DC先進国コアファンド69, 879, 343円、明治安田NBグローバル好利回り社債ファンド2024-03(限定追加型)10, 012, 016円、明治安田NBグローバル好利回り社債ファンド2023-02(限定追加型)10, 009, 009円、明治安田NB世界好利回り事業債ファンド2023-07(限定追加型)10, 009, 009円、明治安田米国レベニュー債オープン(為替ヘッジなし)10, 008, 007円、明治安田NBコーポレート・ハイブリッド証券ファンド2022-12(限定追加型)10, 007, 005円、明治安田NBグローバル好利回り社債ファンド2023-06(限定追加型)10, 007, 005円、明治安田NBグローバル好利回り社債ファンド2023-12(限定追加型)10, 007, 005円、東洋ベトナム株式ファンド2021 4, 998, 501円、東洋ベトナム株式オープン500, 201円です。

(注3) 1口当たり純資産額は0. 9994円です。

(注4) 純資産総額が元本額を下回っており、その額は1, 442, 762円です。

(注5) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注6) 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注7) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注8) 損益の状況の中で(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。